

(様式2)

事業計画書 表紙

横浜市富岡並木地区センター 指定管理者事業計画書			
申込年月日 令和3年 6月 15日			
団体名	株式会社 有隣堂		
代表者名	代表取締役社長 松信 健太郎	設立年月日	1909年 12月 13日
団体所在地	横浜市戸塚区品濃町 881-16 (登記簿上所在地 横浜市中区伊勢佐木町 1-4-1)		
電話番号	045-825-5551	FAX 番号	045-825-5520
沿革	明治42年12月13日 初代松信大助により創業 書籍雑誌の販売を開始 昭和31年 2月 1日 伊勢佐木町に地下1階地上5階の本社・店舗を竣工 平成 3年 5月 5日 東戸塚営業本部ビル完成、外商・管理部門が移転 平成18年 4月 1日 横浜市地区センター4館(市沢・港南台・永谷・竹之丸)の運営開始(指定管理者) 川崎市全7区図書館委託業務開始 平成18年10月13日 プライバシーマーク認証取得 平成19年 4月 1日 大田区大森東図書館運営開始 (指定管理者) 平成21年10月 1日 綾瀬市立図書館運営開始 (指定管理者) 平成22年 4月 1日 横浜市山内図書館運営開始 (指定管理者) 大田区小中学校図書館運営開始 平成23年 4月 1日 横浜市戸塚・都筑図書館・2行政サービスコーナー委託受注 厚木市立中央図書館委託業務開始 小田原市小中学校図書館支援業務開始 平成24年 4月 1日 横浜国立大学附属横浜中学校図書館支援業務開始 平成26年 4月 1日 横浜市城郷小机地区センター運営開始(指定管理者) 平成27年 4月 1日 横浜市立大学学術情報センター図書館委託業務運営開始 平成28年 4月 1日 横浜市六浦・富岡並木地区センター運営開始(指定管理者) 令和2年 6月 1日 小田原駅東口図書館運営開始 (指定管理者)		
業務内容	書籍/雑誌/洋書/教科書/地図/事務用品/文房具/OA機器/コンピュータ及びそのソフト開発/スチール家具/教材/楽器/介護機器/印章/コピー・印刷/製本/出版/家具装飾及び室内設備の設計並びに請負/家庭用電気製品/日用品雑貨/損害保険代理業/音楽教室の運営/カルチャーセンターの運営/古物の販売/通信販売業/労働者派遣事業/公共施設、文教に関する施設の管理・運営等に関する業務の受託/その他これに対する付帯する一切の業務		
担当者連絡先	氏名 [REDACTED]	所 属	書籍外商部 受託サービス課
	電話 [REDACTED]	FAX	[REDACTED]
	E-mail [REDACTED]		

(1) 応募団体に関すること

- ア 応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について
- イ 応募団体の業務における富岡並木地区センター指定管理業務の位置づけ
- ウ 応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な実績

応募団体の経営方針、業務概要、主要業務、特色等について

経営方針

1. 「有隣」の精神にもとづき、文化、教育に関する商品の販売を通じて地域社会に貢献する。
2. 会社永遠の発展と、従業員の福祉向上のため経営の効率化に努力する。
3. 大専門店の誇りを堅持し、最高水準の仕事を目指して絶えざる研究、努力を行なう。

弊社は、上記の「経営方針」に基づき、110 年以上にわたり、地域社会の文化・教育に貢献すべく、書籍・文具・OA 機器の販売をしてまいりました。現在は神奈川県内を中心に約 42 店舗及び外商営業拠点をもち、営業活動をしております。平成 18 年度からは地区センターや図書館の指定管理業務を請け負い、港南台・永谷・市沢地区センターは 3 期、山内図書館は 3 期と継続して運営しています。生涯学習事業(出版、音楽教室、カルチャーセンター、「親と子の夏休みはかせセミナー」等の開催)にも長く取り組み、地区センターの自主事業でも郷土の講座や地域の課題である健康講座等幅広い分野の講座やイベントを開催しております。

応募団体の業務における 富岡並木地区センター 指定管理業務の位置づけ

地域の住民との協力で運営する地区センターは、経営方針「地域社会に貢献する」に合致しております。平成 18 年からの地区センター運営では、平成 25 年の城郷小机地区センター、平成 28 年には金沢区の地区センター 2 館を受託し、現在では 6 館を運営しており、主幹部門である受託サービス課の業務の柱となっています。この受託業務 15 年の経験から、地域毎のニーズをとらえ、地域住民の方と一緒に様々な自主事業やサービスを提供し、地域に貢献することにやりがいを感じています。

5 年間の富岡並木地区センターの受託期間では、図書コーナーの充実や自主事業の拡充等施設の魅力を高める運営をしてまいりました。その結果、最初の 3 年間で入館者数 3.5%アップ、図書の貸出冊数も 30%アップとなり、貸出冊数は市内 2 位となりました。今後も富岡並木地区センターを当社が運営する重要な施設として位置づけ、更に注力して運営してまいります。

応募団体が行った公の施設その他類似施設の管理運営に関する主な業績

現在管理運営している主な施設名	所在都道府県市区名	業務開始年月	業務区分
横浜市城郷小机地区センター	横浜市港北区	平成 25 年 4 月	指定管理
横浜市港南台地区センター	横浜市港南区	平成 18 年 4 月	指定管理
横浜市永谷地区センター	横浜市港南区	平成 18 年 4 月	指定管理
横浜市市沢地区センター	横浜市旭区	平成 18 年 4 月	指定管理
横浜市六浦地区センター	横浜市金沢区	平成 28 年 4 月	指定管理
横浜市富岡並木地区センター	横浜市金沢区	平成 28 年 4 月	指定管理
横浜市山内図書館	横浜市青葉区	平成 22 年 4 月	指定管理
綾瀬市立図書館	綾瀬市	平成 20 年 4 月	指定管理
小田原市立小田原駅東口図書館	小田原市	令和 2 年 6 月	指定管理

令和 3 年 6 月現在の総数 22 施設

(2) 富岡並木地区センター管理運営業務の基本方針について

- ア 設置目的、区政運営上の位置付け
- イ 地域特性、地域ニーズ
- ウ 公の施設としての管理

設置目的、区政運営上の位置づけ

地区センター設置目的：「地域住民が自主活動や相互交流を深めるための魅力ある施設」

区政運営の基本目標：『地域の皆様と共に考える、挑戦する、つくる！』

当社は地区センターの設置目的と区政運営上の位置づけを鑑みて、これからも富岡並木地区センターを地域住民の自主活動を支援する「**楽しみの場**」「**交流と学びの場**」として運営してまいります。

**地域特性、地域ニーズ**

富岡並木地区は、富岡第2地区と金沢シーサイドタウン地区の中心に位置しています。「令和元年度金沢区暮らしや地域に関する意識調査」及び「データ de かなざわ」によると、富岡第2地区と金沢シーサイドタウン地区では40～64歳の中年層の方が35%、65歳以上の高齢層の方が34%を占め、子育て世代・働き盛りから中高齢世代の方が多く暮らしています。当地区センターは京急富岡駅からほど近く、船溜まりが間近にあり、富岡八幡や大きな公園等、緑豊かな環境に立地しています。周囲には大規模な団地が広がり、保育園や学校、ケアプラザ、スポーツ施設や商業施設があり暮らしやすい街です。午前中は小さなお子様連れやご高齢の方、卓球をされる方、午後は子どもたち、夜間は仕事帰りに語学やヨガの講座に参加される方々で賑わっています。

地域ニーズ

- ①高齢化が進む中で、健康維持・増進の場所と機会が必要
- ②中高年層に向けた高い交流と学びの場が求められている。
- ③子どもたちや子育て世代の方が安心して気軽に利用できる場所が必要。

運営に反映

- ①生涯健康でいるために、健康維持・増進に繋がる機会と場所を提供する。
- ②それぞれの世代が参加したくなる、また世代間交流を図るための講座や企画を提供する。
- ③子育て世代や子どもたちにとって居心地の良い空間を提供する。

公の施設としての管理

地区センターは、指定管理者制度が導入された現在も公の施設であることに変わりありません。これを念頭において、どの利用者に対しても人権を尊重し法令遵守を基本として運営してまいります。

- ①施設利用に際し、誰にでも平等かつ公平な接遇を行います。

地区センターは老若男女問わず、様々な方が利用されています。誰に対しても平等かつ公平に接遇して、特定の方に有利あるいは不利になるような運営は致しません。

- ②利用者からのニーズを積極的に取り入れ、**利用者満足度**を高めます。

③維持管理・保全計画を作成実行し、**安全・安心**な施設提供を行ないます。施設を常に良好に保ち、利用者が安心して憩える快適な空間を提供します。

- ④防災計画や緊急時対応マニュアル等を作成し、**危機管理**に対応した運営をします。

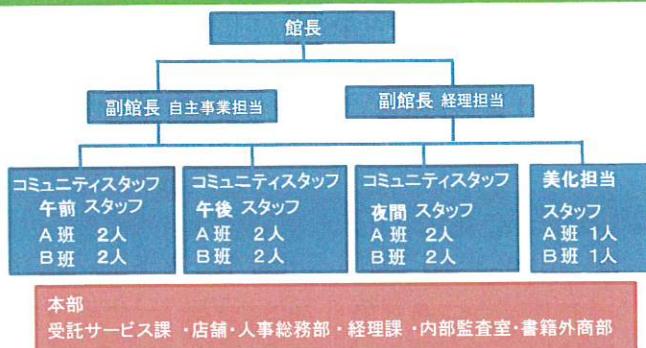
⑤**プライバシーマーク認証番号取得**企業としての定期的な個人情報保護研修やコンプライアンス研修を行い、各種法令を遵守した運営を行います。

(様式 2)
事業計画書(3)-ア

(3) 組織体制ア 管理運営に必要な組織、人員体制

スタッフが笑顔で利用者を迎える地区センターは、安心感や快適な環境を提供します。スタッフ全員が地区センターの仕事にやりがいを持ち、助け合い、安心して働く運営体制をつくります。

組織・人員体制



富岡並木地区センターは、館長 1 名、副館長 2 名の**常勤職員が 3 名の体制**を執ります。副館長は自主事業及び広報担当の自主事業担当と、経理及び図書担当の経理担当を配置します。また、窓口担当のコミュニティスタッフと清掃担当の美化担当を配置します。

職位	区分	人数	所掌事務	頻度	休日
館長	契約社員	1	管理運営責任者、地区センター委員会の運営、涉外	防火管理者資格取得、マネジメント経験者、サービス業経験者	
副館長 自主事業担当	契約社員	1	自主事業の企画立案・実施、地区センターだより等の広報担当	企画力と創造力がある。パソコンスキルがあり、ポスターやチラシ作成等の広報業務ができる。	週2日
副館長 経理担当	契約社員	1	地区センターの予算管理、図書の管理	パソコンスキルがあり、弊社会計ツールを使うことができる。図書の知識がある。	
コミュニティ スタッフ	アルバイト	12	カウンター応対、施設利用の受付、施設利用後の点検等	パソコンの入力スキルがあり、チームワークが取れる。	隔週で 休み
美化担当 スタッフ	アルバイト	2	館内の清掃、美化	清掃好きで、清掃手順やルールが守れる。	

本部

- ◇受託サービス課…担当者が定期的に地区センターを訪問。運営状況の把握とフォロー。緊急時対応。
- ◇店舗…店舗ノウハウを活かした掲示物等の作成支援。
- ◇人事部、総務部、経理課、内部監査室…労務管理、個人情報保護担当の事務局等による教育研修のサポート。地区センター経理の監査とフォロー。コンプライアンスに関する教育と監査。
- ◇書籍外商部…図書整理及び販売部門による修理・図書装備等の研修や、図書情報の提供。

勤務体制

館長と副館長は、早番・遅番の勤務体制をとり、原則として館長もしくは副館長が在席します。スタッフは1日3交代とし、2班体制にして2週間交代で勤務します。交代時の申し送りを漏れなく行い、**役割の明確化と運営状況の共有化を徹底します。**

	人数	8:30	8:40	11:30	12:40	13:00	16:40	17:00	21:00	21:15
館長	1			申し送り						
副館長	1						申し送り			
午前スタッフ	2				申し送り					
午後スタッフ	2					申し送り				
夜間スタッフ	2						申し送り			
美化スタッフ	1									

(3) 組織体制

イ 個人情報保護等の体制と研修計画

地区センター運営に際し、基本協定における「個人情報取扱特記事項」を遵守します。また「個人情報に関する法律」および「横浜市個人情報の保護に関する条例」の規定に従い、利用者に安心して地区センターを利用していただくために、個人情報の取扱いには細心の注意を払ってまいります。

個人情報保護等の体制

1. 個人情報保護

個人情報保護の観点から、当社は2006年に財団法人日本情報処理開発協会に認定を受け、「プライバシーマーク」認証番号10590041を取得し、既に8回更新しています。それに伴い「**プライバシーマネジメントシステム(YPMS) 委員会**」という運営管理機関を設立し、社内の教育体制・監査・緊急体制等の管理を行い、富岡並木地区センターにおいても本部より派遣された監査員が定期的に監査を行います。また館長を個人情報管理者として情報の取扱いの指導・監督、守秘義務の徹底、個人情報の漏洩・滅失・棄損の防止を行います。スタッフへは理解度を深めるために確認テストを行います。



2. コンプライアンス

社会を構成する一企業として法令を遵守し倫理性を持って企業活動を行っていく必要があると考えます。そのため社内に取締役会直轄の「**コンプライアンス委員会**」を設置し、委員会を通じて従業員は教育を受け、法令の遵守に努めています。従業員には「**エシックスカード**」(行動指針)の携帯を義務付け、一人一人がコンプライアンスを意識し、行動をとるよう指導しています。

研修計画

研修名	研修内容	頻度	対象者
館長会	館長同士が意見が交換できる場を作り、各館の様々な問題に全員で取り組むことにより情報を共有化する。	年2回	館長
副館長会 自主	弊社担当者を交え、人気の講座の紹介やアンケートの結果報告等、ニーズを分析して各館の自主事業の立案に活かす。	年2回	副館長
副館長会 経理	予算執行の進捗、経費節減の実践例や予算の効果的な運用を話し合い、各館の運営に反映させる。	月1回	副館長
接遇研修	弊社の人財開発室からの講師を迎えて、接遇・クレーム対応等スキル向上を図る。	年1回	全員
人権研修	身の回りにある人権に関する知識とそれを尊重する大切さを学ぶ。	年1回	全員
業務確認研修	日常業務の手順や機材取り扱い確認を行い、スタッフ全員の資質向上に繋げる。	年1回	スタッフ
図書研修	司書による選書や除籍の指導とディスプレイ方法の習得と、地域資料について学ぶ。	年2回	副館長
個人情報保護研修	個人情報取扱研修を実施し、本部より監査員を派遣し内部監査を行う。	年2回	全員
コンプライアンス 研修	エシックスカードの読み合わせ等を行い、法令順守を心掛ける。	年1回	全員
防災研修	地域ケアプラザと合同研修を行い、消防署より講師を招いた訓練、AEDの取扱い等を確認し万全の体制を整える。	年2回	全員
認知症サポーター 研修	認知症について正しい理解と対応方法を学ぶ。	年1回	未取得者

※区が主催する研修会には積極的に参加します。

(3) 組織体制

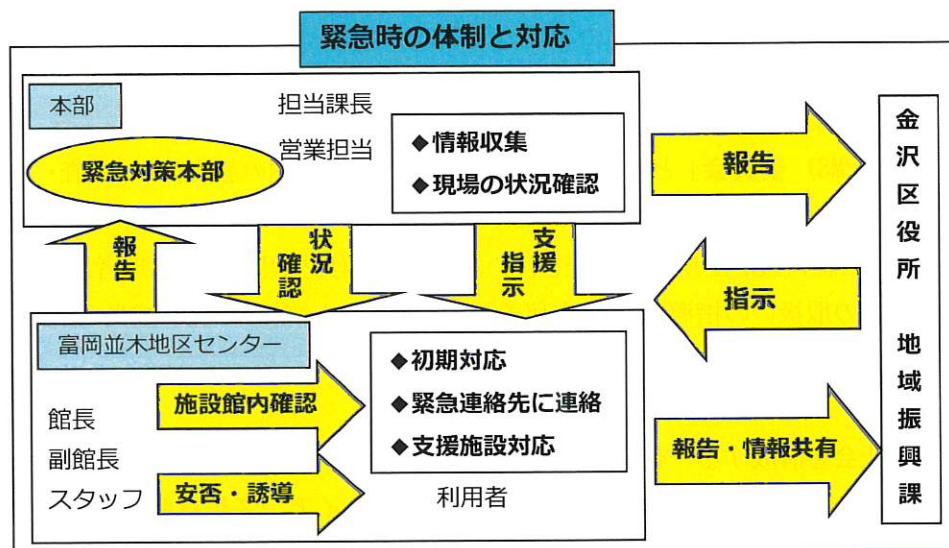
ウ 緊急時の体制と対応計画

緊急時の体制

館長・副館長を中心として、全スタッフの緊急時連絡網を作成します。実際に緊急事態が発生した場合には、役割分担通りに利用者の誘導・救出等を速やかに実施ようになります。また、**災害対応・事故防止・対応マニュアル**を整備し、事故・災害・犯罪・急病等いざというときに的確な措置がとれるような体制を作ります



【緊急時の備え】



対応計画

1. 防犯への取組み

- ① 定期的な巡回によりセキュリティを強化し、犯罪を未然に防ぎます。
- ② 警察・自治会・学校等と協力・連携し防犯活動を行っていきます。
- ③ スタッフに対する接遇研修を実施し、挨拶・声かけ等を実施することにより、犯罪が起こりにくい雰囲気作りを心がけます



【AED操作講習】

2. 防災への取組み

- ① 区の防災計画を踏まえ、利用者・スタッフの安全確保と被害を最小限にとどめるための防災計画を作成します。年1回計画を点検し、必要に応じて改定します。
- ② 防災訓練を実施し、AEDの取り扱い講習等を含めて年1回実施します。
- ③ 地震等の災害に備えた館内点検を実施し、落下・転倒防止、避難経路の確保等を行います。
- ④ 災害時は帰宅困難者一時滞在施設として施設を提供します。
- ⑤ 「防災かるた」を館内に置き利用者に貸し出す事で、防災意識を高める取組みを行います。

3. 事故予防への取組み

- ① 定期的な巡回で施設設備の故障など、事故につながる危険がないか確認します。
- ② ヒヤリハット事例の共有化を行い、利用者の要望を受け止め、事故予防に万全を期します。
- ③ 修繕を要する箇所を常に把握し、長寿命化に貢献する修繕を行うことで安心安全な施設の維持管理を行います。

(4) 施設の運営計画

- ア 設置理念を実現する運営内容
- イ 利用促進策

設置理念を実現する運営内容

当社は地区センターを「誰でも気軽に利用できる、地域住民の自主活動や相互交流を深める施設」として積極的に住民の交流・活動に関わっていき、地区センターを「**楽しみの場・交流と学びの場**」として地域のニーズに応える運営をしてまいります。

①地域の方の楽しみの場・交流と学びの場としての運営

地区センターを日頃から気軽に利用していただけるよう、地域にお住いの皆様の関心の高い課題の解決やニーズを反映した自主事業の講座や、交流を図るための様々な企画やイベントを実施します。

②地域住民との交流・連携の促進

地域の活動団体による展示や舞台発表、自治会の協力による様々な催しで賑わう「地区センターまつり」を実施しています。また、近隣の金沢総合高校吹奏楽部の演奏発表の場として施設を提供しています。地区センターはこれら地域交流イベントの事務局的役割を担い、**地域との連携・交流**を深めてまいりました。今後は、近隣の地域ケアプラザや聖星学園様との連携をさらに深めて共催企画を提案・開催し、**地域力up**を目指します。

利用促進策

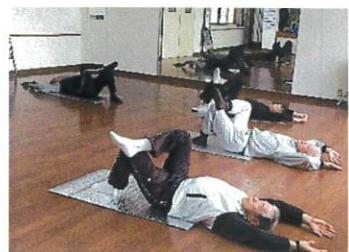
①人気の高い自主事業の拡充と更新

富岡並木地区センターでは健康体操やヨガ教室、ダンス講座、英会話などの講座を実施し、多くの方に継続して参加していただいている。その中でも人気の高いヨガや英会話の講座などは、内容のレベルアップ、初心者講座の拡充や、仕事帰りに参加できる時間帯での実施等により参加者を増やしてきました。新たに立ち上げた小学生対象の「フットサル教室」も定着しています。これからも利用者のニーズに応えた新鮮で魅力ある企画を更新していくことで、自主事業を機会とした利用促進を図ります。



②利用者の傾向を掴んだ選書による図書コーナーの充実

図書担当者が利用者の読書傾向を掴んだ本の選定を心がけてきた結果、現在は市内で2番目に図書の貸出が多い地区センターとなりました。今後もこの実績を維持するとともに、子どもたちに読んでほしい・読みたくなるような本を選び、児童や子育て世代に楽しんでもらえる図書コーナーを提供します。



③利便性の向上

当社はインターネットでの施設予約システム「nexres(ネクレス)」を導入し、予約や抽選のたびに来館する利用者の負担を解消しました。今後は自主事業の申込や図書の予約をWebでできるフォームの活用、オンラインで参加できる講座の実施等で利用者・参加者の利便性の向上を図り、利用促進に繋げます。また、2階に設置したWi-Fiの利用範囲を電波の届きにくい部屋にも拡充することで、来館者に快適なネット環境を提供します。

(4) 施設の運営計画

ウ 利用料金の設定について（※地区センターのみ該当）

利用料金の設定について

利用者の利便性を考慮し、利用料金はこれまでの金額を踏襲します。利用率の高い部屋については、ニーズを反映した設定がされていると判断し現状を維持します。その上で、利用促進のための稼働の低迷している料理室の利用料金を現在の2時間で620円の金額のまま3時間利用できるよう見直します。利用後に片付ける時間にも余裕が生まれ、皆さんで作った料理をゆっくり味わっていただくことができます。

部屋	1コマ	2時間 (日祝午後2)	1時間	会議室利用
小会議室	450	300	150	
中会議室	900	600	300	
多目的室	1,830	1,220	610	
和室(中)	690	460	230	
和室(小)	600	400	200	
料理室(3時間)	620	400	-	530
体育室	(全面)	1,700	1,130	570
	(半面)	850	570	280



利用料金の割引は安易に実施せず、キャンセルのあった施設の周知等により空室を積極的に減らす工夫をします。

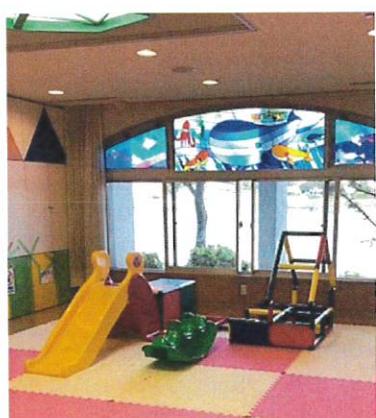
空室を減らす取組・工夫

- 施設予約システムの利便性をPR
- 施設の機材を常に使いやすい状態に維持・管理
- 料理室の料金変更（利用者の要望に対応）
- ニーズに適った利用環境を整える

例：プレイルームの大型遊具を新規購入

体操やダンスで使用する姿見を購入

和室で高齢者でも座りやすい座椅子を用意



(4) 施設の運営計画

エ 利用者ニーズの把握と運営への反映

オ 利用者サービス向上の取組

カ ニーズ対応費の使途について（※地区センターのみ該当）

利用者ニーズの把握と運営への反映

- ①利用者ニーズの把握のため、利用者からの意見・要望の収集に努めます。
- ②把握したニーズは職員会議や全体ミーティング等で検討し、運営に反映します。
- ③利用者からの要望への対応策についてセンター便りやSNS、館内掲示にて公表します。

ニーズの把握方法	ご意見・ご要望	反映方法の例
利用者アンケート	プレイルームの遊具を新しくしてほしい	新しい遊具を購入・設置
カウンターやご意見箱への意見	雑誌が探しにくい	雑誌書架を購入し改善
利用者会議でのご意見	部屋全体に冷風が届かない部屋がある	サーキュレーターを購入し改善
自主事業参加者アンケート	平日の夜に参加できる講座を企画してほしい	平日夜間開催の語学・健康講座を企画
センター委員会でのご意見	駐車スペースが少ない	駐車スペースを3台分拡充(工事)

利用者サービス向上の取組

①インターネットの活用による利便性の向上

自主事業(講座)の申込や図書の予約を地区センターのホームページから手続きができる申込フォームの運用を開始します。またオンラインで参加できる講座の企画にも取り組みます。



②Wi-Fi環境の拡充

現在1階、2階フロアで利用できるようにしてきたWi-Fiの使用エリアを、電波の届きにくい部屋の中でも利用できるよう拡充します。

③施設予約・抽選システムの利用促進

当社が平成29年度に導入したインターネットでの施設予約・抽選システムにより予約だけのために来館していただく負担をなくしました。PCやスマートフォンでの予約操作方法を利用者に丁寧に説明を続け、引き続き周知していくことでサービスの向上を図ります。

④認知症サポート研修の継続

スタッフが全員認知症サポートとなり、認知症の方へ配慮して対応します。

⑤おもてなしの心をもった接遇

金沢まごころ運動の実践と併せて、当社の接遇ノウハウを活かした研修を実施し、おもてなしの心を持った利用者対応を行います。

ニーズ対応費の使途について

利用者の要望を把握し、効果的かつ計画的に執行します。利用者が記入する施設利用報告等から備品や物品への要望を収集し購入を検討します。高齢者や子育て世代の利便性を意識した対応を重点的に行い、利用者満足度の向上を図ります。施設・設備の安全、安心のための使途も確保します。

利用者からのニーズ	割合	使途	効果
設備の充実	35%	照明機器のLED化、Wi-Fi使用エリアの拡大等	利用者満足度の向上
備品の拡充	30%	会議室のテーブルの買換えや卓球台の購入等	利用者満足度の向上
センターまつり	30%	展示パネル等の備品や抽選会の景品	地域交流の促進
災害時の準備	5%	災害対策備品の更新	利用者の安心

(4) 施設の運営計画

キ 本市重要施策に対する取組

本市重要施策に対する取組

①情報公開

アンケート調査結果、利用者会議・地区センター委員会議事録、決算書等の地区センター運営に関する情報は、掲示または閲覧等により積極的に公開します。また、情報公開規定については館長・副館長が年度初めに研修を受け、請求時における対処方法を学びます。

②人権尊重

すべてのスタッフが人権問題を正しく理解し、自分の問題としてとらえられるように、人権に関するビデオの視聴や講師派遣による人権研修を行います。



【3R夢プランの実践】

③環境への配慮

横浜市環境管理計画に則り、今出来る「エコ活」を行います。スタッフに注意喚起し、リデュース・リユース・リサイクル(3R夢プラン)を実践して、環境負荷の低減に努めます。ゴミの発生を抑止するために、①分別の徹底 ②マイバック・マイボトルなどのM y (マイ) の実践を行います。

④市内中小企業優先発注

物品の調達や維持管理業務等に関して、地元中小企業にお願いしています。

⑤障害者福祉政策

基本目標「障害のある人もない人も誰もが人格と個性を尊重し合いながら地域共生社会の一員として自らの意思により自分らしくいきるまちヨコハマを目指す」を受け、また、障害者差別解消法を鑑み、合理的配慮を行うとともに誰もが平等に利用できる地区センターを目指します。

⑥男女共同参画政策

従事者は、職員・コミュニティスタッフ共に女性が多く地域のコーディネーターとして活躍しています。また、自主事業では、働く女性を応援する講座や男性向けの料理講座を開催します。

⑦地域の課題や情報の共有を図る体制

日ごろより利用者・自治会・近隣の公共施設とのコミュニケーションを図り、地域の課題や情報を共有出来る体制を整備します。具体的にはセンター委員会の他、館長が連合自治会や近隣小学校の運動会へ参加する等してコミュニケーションを図ります。また、NPO 団体が開催している「子ども食堂」に施設を無償提供することで地域に貢献しています。

(5) 自主事業計画

地域の様々な世代の方の健康維持・増進の機会となる自主事業を企画します。また、恒例のセンターまつりや様々なイベントを実施し、地域交流を深めます。新たな利用者の増加を図るために、地区センターを知る機会となり、利用したくなるような新規の自主事業を企画します。

自主事業計画の基本的な考え方

- ①地域の様々な世代の方の健康維持・増進の機会となる自主事業を企画します。
- ②地域の交流と学びの場所として、あらゆる世代向けの参加者交流型の企画を積極的に行います。
- ③健康づくりとスポーツの企画を充実させ、誰でも気軽に参加できる運動や健康法を提案します。
- ④コロナ禍の実施において、安全を考慮した実施方法と定員で安心して参加できる環境を作ります。

企画の特徴

- ①本格的でレベルが高くてもリーズナブルな参加費

ネイティブの講師による語学教室や、本格的な指導で人気の講師による様々な健康講座を**参加しやすい費用**で実施します。

- ②習慣化を目指す事業

年間を通して定期的かつ長期間にわたって開催することで、利用者の継続的な参加による健康習慣の定着を促します。

- ③人気講座の展開

現在好評の企画の日程や時間を再構築し、様々な方が参加し継続しやすい機会を提供することで新規参加者を拡大します。また、現在受講している方に引き続き参加していただくために、参加者のレベルアップに合わせた講座をつくります。

- ④当社の持つ企画のノウハウ

出版社とのコラボレーション企画や、書店ならではの企画、地区センターや図書館の運営で培ったノウハウを水平展開します。

- ⑤オンライン配信による実施

コロナ禍の新たな参加方法として、オンライン配信による企画を実施し、来館できない利用者の参加を促進します。



各種テーマをそなえた企画

下記の6つのテーマを柱に、幅広い世代を対象とした企画事業を展開していきます

- | | |
|---------|--|
| ①食と健康 | : 金曜日のリフレッシュヨガ、骨盤調整、秋のイタリア料理 |
| ②環境とエコ | : ヘナハーブのお話、みんなで作るグリーンカーテン、身近な SDGs |
| ③子育て支援 | : ベビーふれあい体操、おはなし会、子育て相談室 |
| ④わんぱく事業 | : サマースイーツ教室、キッズフットサル、おもしろ科学たいけん塾 |
| ⑤趣味と学び | : シンプル英会話、いけばな体験 |
| ⑥地域と繋がる | : 親子蕎麦打ち教室、新春囲碁将棋大会、地区センターまつり、昔遊び体験、など |



(様式2)
事業計画書(6)

(6) 施設の維持管理計画

維持管理の考え方

施設及び設備の保守管理、点検、修繕、清掃等の維持管理は、地区センターでの管理経験・ノウハウを持つ横浜市内の専門業者に優先して委託します。専門業者による管理は、年間の維持管理計画書に則り実施します。また、設備や設備機器の**長寿命化**を図るために、日常業務及び定期業務での不具合箇所の**早期発見・早期補修**を実施します。日常的な施設管理は、「快適」「安全」「安心」を確保するために、**巡回時チェック表**を用いてスタッフによる点検・清掃業務等を行います。

維持管理計画書

- ① 専門業者による「維持管理計画書」に基づき、定期作業及び定期点検の内容を明確にして業務の効率化を図った施設管理をおこない、月次報告書を区に提出します。
- ② 施設の長寿命化を重視し予防保全に努め、**ライフサイクルコストの縮減**を図ります。定期点検で修繕箇所のリストアップを行い、故障・不具合発生の芽を速やかに摘み取ります。

【維持管理計画（案）】

項目	業務	内容	年回数	実施月
電気・機械設備	設備巡回点検	設備総合巡回点検	12	毎月
	建築物点検	建築設備12条点検	1	11月
	電気設備保守	自家用電気工作物保安管理業務(月次)	12	毎月
	冷暖房設備保守	自家用電気工作物法定検査	1	12月
衛生設備	冷暖房設備保守	空調自動制御設備点検	1	6月
	レジオネラ属菌検査	冷却塔レジオネラ属菌検査	1	8月
	飲料水受水槽清掃	受水槽清掃・水質検査	1	3月
建物等	冷水器保守点検	冷水器点検	1	4月
	消防用設備点検	定期保守点検	2	9、3月
	昇降機点検	定期保守点検	12	毎月
	自動ドア点検	定期保守点検	4	5,8,11,2月
清掃等	機械警備点検	機械警備	毎日	毎日
	清掃業務	定期清掃他	3	7,9,11,3月
	植栽剪定・草刈	植栽管理	3	6,10,1月
	害虫駆除	衛生害虫防除施工	2	6,12月

日常点検による効率化

- ① スタッフによる日常点検は、「巡回チェック表」、「業務マニュアル」を使用し、全スタッフが一定水準で効率的かつ確実に実施します。
- ② 日常清掃は美化担当の他、午前、午後、夜間の清掃分担を決め、「美化スタッフ業務チェックリスト」に基づく清掃及び消耗品の点検を実施します。防犯上の安全・安心を確保するために、定期点検とは別に開館前、午前、午後、夜間と定期的に職員が巡回し、不具合箇所や危険がないか点検します。施設を常に良好な状態に保つよう努めます。
- ③ 事務室内に「ヒヤリハット報告書」を設置し、スタッフや利用者から備品の破損、修繕箇所などの情報を収集します。職員会議などで定期的に情報共有し、改善案を話し合います。



【巡回チェック表】

(様式2)
事業計画書(7)-アイ

(6) 収支計画(収入計画)

- ア 収入計画の考え方について
- イ 増収策について

収入計画の考え方について

富岡並木地区センターは開館から26年が経ち、修繕を要する箇所も年々増えています。限られた予算の中でも安心・安全な施設運営を行えるように、指定管理料だけに頼らずに他の収入も増やしてまいります。収入の内容は指定管理料の他に施設利用料金収入、自主事業収入、自販機手数料等による雑収入とこれら、それぞれ増収する予定です。

増収策について

①施設利用料金収入

令和元年度の実績に対して5年間で2%UPを目指します。
体育室や音楽室等の利用は常に満室に近い状況ですが、
利用の少ない和室と料理室の稼働率UPに繋げるために、
新たな利用方法を展開します。SNS等を使い、既に導入した**施設予約システム**の利用方法を広めることで新たな利用者を開拓します。

$$\text{利用料金収入} \rightarrow 2\% \text{増加} = \text{約 } 80,000 \text{ 円 (年間)}$$



【施設予約システム画面】

$$\text{料理室 } 3 \text{ 時間単位利用 (3時間)} = 620 \text{ 円}$$

$$\begin{aligned} \text{例: 料理室利用増 } & 620 \text{ 円} \times 1 \text{ コマ利用 (毎月 2 回増加)} \\ & = 620 \text{ 円} \times 24 \text{ 回} = \text{約 } 14,880 \text{ 円} \end{aligned}$$

②自主事業収入

多くの参加を促す魅力的な企画を行うとともに、年間を通して開催することで継続的な参加が見込める事業を実施して収入を確保します。子どもたちの放課後の居場所づくりや、人気のある講座を拡充するとともに、新しい健康講座等の企画にも取り組んでまいります。

$$\text{例: 「ジョンの英会話」拡大 (金曜日・第2部)}$$

$$1,000 \text{ 円} \times 8 \text{ 人} \times 50 \text{ 回} = \text{約 } 400,000 \text{ 円}$$

③雑収入

自販機手数料は利用者の要望に応じて品揃えを見直すことにより増収を図ります。また自主事業に関連した物販(テキストや書籍、講座で使用する物品等)を行うことで利用者の利便性を高め増収に繋げます。また児童の課題図書や防災かるた等の注文販売を行う等、子どもの読書推進に貢献します。

$$\text{例: 防災かるた(もしものかるた)の注文販売}$$

$$1,870 \text{ 円} \times 10 \text{ セット (年間)} = \text{約 } 18,700 \text{ 円}$$



(7) 収支計画（支出計画）

ウ 支出計画の考え方について

基本的な考え方

『使うべきところに使い、抑える（削減できる）ところは抑え（削減し）ます。』

利用者や職員・スタッフのニーズ、利用者に施設を快適に過ごしていただくための環境整備、利用者へ還元されるサービス・事業運営費用については積極的に執行します。また、修繕等の発注、物品の調達等にあたっては、市内中小企業への優先発注に努めます。

計画的な予算執行のために、年度初めに費目毎の予算額を決定し、毎月の進捗状況を把握しています。そして、無駄な使い方をしていないか等の予算管理を行います。

- ① 増収分は施設修繕費や必要な備品や消耗品購入に充てる等、利用者に還元します。
- ② ニーズ対応費は、利用者要望を反映した費目に配賦し、利用者満足度を上げていく使い方をします（参照：（4）施設の運営計画 カ ニーズ対応費の使途）。

経費削減策

- ① 5万円以上の備品購入時は、2社以上から見積をとります。また、本部決裁の手続きをふみ、安易な購入に歯止めを掛けます。
- ② 施設全部の照明をLED化する計画を策定し、年度毎に計画通り実施しています。**照明をLEDに交換したこと**で電気代の節減が見込まれます。
- ③ 図書や文房具、コピー機等当社で扱いのある商品は、社内価格にして経費を抑えます。

予算管理の方法

- ① 当社は地区センターの経費を管理するため**「地区センター経理規程」**を策定し、規定に則った処理を徹底しています。
- ② 年度初めに費目毎の執行予算を策定します。費目毎の予算は経理担当副館長と本部担当者が利用者のニーズや前年度の実績を分析・考慮し、どの予算を重点的に補強するかなどを話し合って決めていきます。
- ③ 執行した予算は、**当社独自の会計システム「地区センター会計ツール」**に入力して管理します（下記フロー図参照）。



【会計報告会の様子】



(8) 新型コロナウイルス感染症等に係る対応

- 基本的な感染対策等
- 事業計画の工夫

横浜市の「新型コロナウイルス感染症に対する各施設での対応について」および当社「新型コロナウイルス感染及び感染疑い者発生時の対応マニュアル」に基づき適切に対応します。

基本的な感染対策等

① 来館者

- 消毒の徹底および体調点検:入口でのアルコール手指消毒や手洗いの励行を促し、**非接触サーモカメラ**により来館者自身が体調を確認できるようにします。また、必要に応じてスタッフによる検温も実施します。部屋利用時は**消毒キット**を貸出し、利用者の感染防止を支援します。
- 感染予防:掲示物によりマスクの常時着用を促します。
- 濃厚接触の回避:**床面サイン**などでカウンターや娯楽室などでの人・椅子・机の間隔を確保します。また、状況によって飲食禁止(水分補給を除く)や大声禁止等のお願いをします。



② 施設・備品

- 環境管理:カウンター等でのビニールシート遮蔽による飛沫拡散防止や**CO2濃度計測器**と熱中症指數測定器による換気や冷房・湿度の調節に努めます。網戸のない部屋には簡易網戸を設置し夏場の換気に努めます。また、共有部分の消毒・清掃を実施します。
- 備品管理:碁石、将棋の駒、オセロなどの遊具は**洗浄や消毒**をしたうえで貸出します。
- 情報発信:LINEコロナお知らせシステムの活用とホームページやTwitterで館の対応を伝えます。

③ スタッフ

- 消毒の徹底および体調点検:出勤時の検温及び体調確認、手洗いと手指消毒に努めます。
- 感染予防:マスクを常時着用し、必要に応じて適宜フェイスシールド、手袋を使用します。
- 濃厚接触の回避:休憩時の**黙食**やマスク未着用での会話の禁止を徹底します。
- 感染者発生時は速やかに区に報告し、区の指示と当社マニュアルに則り感染拡大防止に努めます。

事業計画の工夫

① 感染症予防を前提とした事業の実施

講座やイベント実施に際し、少人数の定員で入室時の消毒や十分な席間隔の確保に努めます。

② オンライン自主事業の実施

昨年度末に実施したオンラインでの座禅講座の実施などを踏まえ、来館せずに参加できる**オンラインの自主事業**を実施します。また、参加費の徴収は**Webによる課金システム**を活用します。

③ 図書返却ボックスの導入

入口に**返却ボックス**を設置し、入館せずに図書の返却ができるようになります。ことで、利用者同士またはスタッフとの接触機会を減らします。



④ 図書のネット予約システム

利便性を高めるためにGoogleフォームなどを利用した、パソコンやスマートフォンによる**予約図書取り置きサービス**の導入を検討します。

横浜市 富岡並木地区センター 自主事業計画書

(様式3)

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	①募集対象	自主事業予算額				
	②募集人数	総経費	収入		支出	
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費
卓球大会	成年男女	36,000	0	36,000	0	36,000
	60人					
	600円					
社交ダンスパーティー	成年男女	20,000	0	20,000	20,000	0
	40人					
	500円					
新春囲碁将棋大会	成年男女	20,000	0	20,000	0	20,000
	40人					
	500円					
センターまつり	老若男女	11,000	11,000	0	0	11,000
	一					
	0円					
親子ふれあい体操	親子	93,600	3,600	90,000	93,600	0
	10人					
	500円					
中級ヨガ教室	成年男女	196,800	52,800	144,000	196,800	0
	12人					
	500円					
始めてみよう太極拳	成年男女	241,800	54,600	187,200	241,800	0
	12人					
	400円					
らくらく健康体操	成年男女	70,400	-35,200	105,600	70,400	0
	12人					
	400円					
ジョンの英会話(水曜午前)	成年男女	387,421	11,421	376,000	387,421	0
	8人					
	1000円					
さわやか健康体操	成年男女	176,640	-130,560	307,200	176,640	0
	24人					
	400円					
「ペルソップ」を目指す社交ダンス	成年男女	720,000	240,000	480,000	720,000	0
	24人					
	500円					
キッズ・フットサル教室	小学生	800,000	32,000	768,000	800,000	0
	24人					
	800円					
ジョンの英会話(水曜夜間)	成年男女	387,421	11,421	376,000	387,421	0
	8人					
	1000円					

横浜市 富岡並木地区センター 自主事業計画書

(様式3)

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
健康ヨガ教室	成年男女	1,000,000	-600,000	1,600,000	1,000,000	0	0
	80人						
	400円						
ジョンの英会話(金曜)1部	成年男女	412,150	12,150	400,000	412,150	0	0
	8人						
	1000円						
ジョンの英会話(金曜)2部	成年男女	412,150	12,150	400,000	412,150	0	0
	8人						
	1000円						
私の骨盤調整	成年男女	120,000	-36,000	156,000	120,000	0	0
	12人						
	500円						
私の骨盤調整II	成年男女	120,000	-36,000	156,000	120,000	0	0
	12人						
	500円						
ベビーふれあい体操	親子	93,600	3,600	90,000	93,600	0	0
	10人						
	500円						
金曜夜のリラッシュ・ヨガ教室	成年男女	352,800	88,200	264,600	352,800	0	0
	12人						
	500円						
エンジョイ・シンプル英会話	成年男女	432,400	94,000	338,400	432,400	0	0
	8人						
	900円						
マジック入門講座	成年男女	16,000	0	16,000	8,000	8,000	0
	8人						
	500円						
ヘナハーブのお話	成年男女	4,000	0	4,000	4,000	0	0
	8人						
	500円						
初夏のいけばな体験教室	成年男女	16,000	0	16,000	7,000	9,000	0
	8人						
	2000円						
「そばの日」蕎麦打ち体験会	成年男女	48,000	0	48,000	20,000	28,000	0
	24人						
	2000円						
秋のいけばな体験教室	成年男女	16,000	0	16,000	7,000	9,000	0
	8人						
	2000円						

横浜市 富岡並木地区センター 自主事業計画書

(様式3)

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
秋のイタリア料理教室	成年男女	22,000	2,000	20,000	10,000	10,000	2,000
	10人						
	2000円						
秋のハイキング	成年男女	15,000	7,000	8,000	15,000	0	0
	16人						
	500円						
年賀状を作る木版画教室	成年男女	12,000	9,000	3,000	10,000	2,000	0
	6人						
	500円						
年越し蕎麦打ち教室	成年男女	48,000	0	48,000	20,000	28,000	0
	24人						
	2000円						
お正月を彩るいけばな体験教室	成年男女	23,000	1,400	21,600	5,000	18,000	0
	8人						
	2700円						
ひなまつりいけばな体験教室	成年男女	22,000	2,000	20,000	5,000	17,000	0
	8人						
	2500円						
春のイタリア料理教室	成年男女	22,000	2,000	20,000	10,000	10,000	2,000
	10人						
	2000円						
春のハイキング	成年男女	15,000	7,000	8,000	15,000	0	0
	16人						
	500円						
ふしぎ発見理科ひろば	小・中学生	7,000	-200	7,200	7,000	0	0
	12人						
	600円						
サマー・スノードーム教室	小・中学生	8,000	800	7,200	5,000	3,000	0
	12人						
	600円						
キッズ・フットサル体験	小・中学生	40,000	40,000	0	40,000	0	0
	24人						
	0円						
親子蕎麦打ち体験会	親子	30,000	6,000	24,000	14,000	16,000	0
	12人						
	2000円						
昔あそび体験	親子	21,000	21,000	0	11,000	10,000	0
	30人						
	0円						
サマー・アート教室	小・中学生	8,000	2,000	6,000	6,000	2,000	0
	12人						
	500円						

横浜市 富岡並木地区センター 自主事業計画書

(様式3)

団体名 株式会社 有隣堂

事業名	①募集対象	自 主 事 業 予 算 額					
	②募集人数	総経費	収入		支出		
	③一人当たり参加費		指定管理料 から充当	参加費	講師謝金	材料費	その他
おもしろ科学たいけん塾	小・中学生	12,000	6,000	6,000	10,000	2,000	0
	12人						
	500円						
サマー・スイーツ教室	小・中学生	23,000	17,000	6,000	12,000	11,000	0
	12人						
	500円						
クリスマス・スノードーム教室	小・中学生	12,000	6,000	6,000	5,000	7,000	0
	10人						
	600円						
クリスマス・ケーキ教室	小・中学生	28,000	18,400	9,600	12,000	16,000	0
	12人						
	800円						
おもちゃ病院	老若男女	0	0	0	0	0	0
	—						
	0円						
おはなしこりん村	未就学児	26,400	26,400	0	26,400	0	0
	—						
	0円						
ドレミファぼぼ	未就学児	26,400	26,400	0	26,400	0	0
	—						
	0円						
紙芝居の会	未就学児	13,200	13,200	0	13200	0	0
	—						
	0円						
保険料(年額)		250,000	250,000				250,000
合 計		6,888,182	252,582	6,635,600	6,361,182	262,000	265,000

事業ごとの事業内容等を様式4に記載してください。

横浜市 富岡並木地区センター 自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂

（様式4）

事業名	目的・内容等	実施時期・回数
卓球大会	卓球グループ同士による共同作業の楽しさと、トーナメント方式による試合を楽しんでもらう。	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
社交ダンスパーティー	活動盛んな社交ダンスグループを中心に、感染予防策を講じつつ、社交ダンスの集いを楽しんでもらう。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
新春 囲碁将棋大会	囲碁、将棋でセンターを利用されている方々に、大会形式で楽しんでもらう。	1月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
センターまつり	センターを利用されている団体に、演技発表と作品展示を楽しんでもらう。	3月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
親子 ふれあい体操	2~3歳児の親子に、音楽に合わせて元気いっぱい楽しくリズミカルに体を動かしてもらう。	通年開催 18回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
中級ヨガ教室	ヨガの基本的な動きから、やや上級レベルのポーズも体験してもらう。	通年開催 24回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
始めてみよう 太極拳	ゆっくりとした動作や体重移動で足腰の筋力を鍛え、バランス感覚を養ってもらう。	通年開催 39回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
らくらく 健康体操	音楽に合わせて楽しく身体を動かすことで、心と体の健康を維持してもらう。	通年開催 22回

横浜市 富岡並木地区センター 自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂 (様式4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジョンの英会話 (水曜午前)	ネイティブの講師を講師に迎え、本場の発音で楽しく英会話を学んでもらう。	通年開催 47回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
さわやか 健康体操	体の体調に合わせて気軽に参加することで、健康維持と仲間作りを目指してもらう。	通年開催 32回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
レベルアップを 目指す社交ダンス	パートナーと美しくを踊るために、更なるレベルアップを目指してもらう。	通年開催 40回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
キッズ・ フットサル教室	コーチによる基礎トレーニングやテクニックの指導で、 フットサルを楽しんでもらう。	通年開催 40回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジョンの英会話 (水曜夜間)	ネイティブの講師を講師に迎え、本場の発音で楽しく英会話を学んでもらう。	通年開催 47回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
健康ヨガ教室	心と体のリラクゼーションのために、生涯楽しみながら続けることができる健康法を学んでもらう。	通年開催 50回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジョンの英会話 (金曜)1部	ネイティブの講師を講師に迎え、本場の発音で楽しく英会話を学んでもらう。	通年開催 50回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ジョンの英会話 (金曜)2部	ネイティブの講師を講師に迎え、本場の発音で楽しく英会話を学んでもらう。	通年開催 50回

横浜市 富岡並木地区センター 自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂 (様式4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
私の骨盤調整	骨盤から全身を整えることで血流や肌のハリを改善し、前向きな気持ちになってもらう。	通年開催 26回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
私の骨盤調整Ⅱ	骨盤から全身を整えることで血流や肌のハリを改善し、前向きな気持ちになってもらう。	通年開催 26回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ベビー ふれあい体操	0~1歳児の親子に、体操を通じたコミュニケーションを体感してもらう。	通年開催 18回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
金曜夜の リフレッシュ・ヨガ教室	ヨガによってリフレッシュすることで、一週間の疲れを癒してもらう。	通年開催 49回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
エンジョイ・ シンプル英会話	広い世代に参加してもらい、シンプルに英会話を楽しんでもらう。	通年開催 47回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
マジック 入門講座	見る人に感動と驚きを与えることができるマジックを体感してもらう。	9月 4回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ヘナハーブの お話	体の内側から体を元気に保つ力を引き出すと言われているヘナハーブについて学んでもらう。	5月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
初夏のいけばな 体験教室	日本の伝統文化であるいけばなを基礎から学び、自分に合わせたいけ方を楽しんでもらう。	5月 1回

横浜市 富岡並木地区センター 自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂 (様式4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
「そばの日」 蕎麦打ち体験会	そばの日に合わせて、ベテランの講師に丁寧に蕎麦打ちを教えてもらう。	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋のいけばな 体験教室	日本の伝統文化であるいけばなを基礎から学び、自分に合わせたいけ方を楽しんでもらう。	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋のイタリア 料理教室	フィレンツェ出身の講師に、秋のイタリアの家庭料理を教えてもらう。	11月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
秋のハイキング	ガイドさんに名所を案内してもらい、秋を感じながら健康維持を図ってもらう。	10月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年賀状を作る 木版画教室	木版画で来年の干支を彫ってもらい、年賀状作りを楽しんでもらう。	11月 5回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
年越し 蕎麦打ち教室	年越しに合わせて、ベテランの講師に丁寧に蕎麦打ちを教えてもらう。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
お正月を彩る いけばな 体験教室	日本の伝統文化であるいけばなを基礎から学び、自分に合わせたいけ方を楽しんでもらう。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ひなまつり いけばな 体験教室	日本の伝統文化であるいけばなを基礎から学び、自分に合わせたいけ方を楽しんでもらう。	2月 1回

横浜市 富岡並木地区センター 自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂 (様式4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
春のイタリア 料理教室	フィレンツェ出身の講師に、春のイタリアの家庭料理を教えてもらう。	3月 1回
春のハイキング	ガイドさんに名所を案内してもらい、春を感じながら健康維持を図ってもらう。	3月 1回
ふしぎ発見 理科ひろば	工作を通して、子供たちに科学の夢や面白さを体験してもらう。	8月 1回
サマー・ スノードーム 教室	スノードーム作りを通して、子供たちに物作りや装飾の楽しさを体感してもらう。	7月 1回
キッズ・ フットサル 体験教室	コーチによる基礎トレーニングやテクニックの指導で、フットサルの楽しさを体験してもらう。	7・8月 2回
親子 蕎麦打ち体験会	親子での共同作業を通じて、蕎麦打ちの楽しさを体験してもらう。	7月 1回
サマー・ アート教室	工作を通して、子供たちに物作りや装飾の楽しさを体感してもらう。	8月 1回
おもしろ科学 たいけん塾	工作を通して、子供たちに物作りの楽しさや科学の面白さを体験してもらう。	8月 1回

横浜市 富岡並木地区センター 自主事業別計画書（単表）

団体名 株式会社 有隣堂 (様式4)

事業名	目的・内容	実施時期・回数
サマー・ スイーツ教室	スイーツ作りを通して、子供たちに食べ物を自分で作る楽しさを体験してもらう。	7月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス・ スノードーム 教室	スノードーム作りを通して、子供たちに物作りや装飾の楽しさを体感してもらう。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
クリスマス・ ケーキ教室	ケーキ作りを通して、子供たちに食べ物を自分で作る楽しさを体験してもらう。	12月 1回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おもちゃ病院	毎月第3火曜日に、故障したおもちゃをおもちゃドクターに修理してもらう。	通年開催 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
おはなし ころりん村	毎月第1木曜日に、おはなしや本の読み聞かせ、エプロンシアターを親子で楽しんでもらう。	通年開催 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
ドレミファばば	毎月第3日曜日に、歌とおはなし会やミニシアター、手遊びを親子で楽しんでもらう。	通年開催 12回

事業名	目的・内容	実施時期・回数
紙芝居の会	隔月第4木曜日に、昔懐かしい紙芝居を親子で楽しんでもらう。	通年開催 6回

単独団体名・共同事業体名	株式会社 有隣堂
施設名	横浜市富岡並木地区センター

令和4年度収支予算書（兼指定管理料提案書）

I. 指定管理料

（単位：千円）

提 案 額 (a)	36,880	指定管理料提案額=小計【イ】を記入 ※区指定上限額（b）の範囲内で提案してください。
※区指定上限額（b）	37,080	
差 引 (a) - (b)	▲ 200	
提案額の区指定上限額に対する割合 (a) / (b)	99.5%	

II. 令和4年度収支予算書（総括表）

1 収入の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
利用料金収入 [A]	3,900	
自主事業収入 [B]	6,635	
雑入 [C]	1,273	
小 計 【ア】 ([A]~[C])	11,808	施設運営収入の計
指定管理料① [D]	35,580	【ウ】 - 【ア】
指定管理料②（ニーズ対応費分） [E]	1,300	[A] × 1/3
小 計 【イ】 ([D]~[E])	36,880	指定管理料の計
収入合計（【ア】 + 【イ】）	48,688	

2 支出の部

項 目	合計金額 (単位：千円)	備 考
人件費 [a]	19,680	
事務費 [b]	3,200	
自主事業費 [c]	6,888	
管理費A（光熱水費等） [d]	6,500	
管理費B（保守管理費等） [e]	5,720	
公租公課 [f]	1,900	
事務経費 [g]	3,500	
小 計 【ウ】 ([a] ~ [g])	47,388	施設管理運営経費の計
ニーズ対応費 [h] (= [E])	1,300	【E】と同額になります。
小 計 【エ】 ([h])	1,300	ニーズ対応費の計
支出合計（【ウ】 + 【エ】）	48,688	

※金額は、消費税及び地方消費税（10%）込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	株式会社 有隣堂
施設名	横浜市富岡並木地区センター

令和4年度収支予算書

1 収入の部内訳(指定管理料除く)

(単位:千円)

	項目	内 容 等	金 額	
利用料金収入	小会議室		ア	323
	中会議室		イ	626
	料理室		ウ	651
	多目的室		エ	812
	和室(中)		オ	454
	和室(小)		カ	410
	体育室A		キ	332
	体育室B		ク	292
			ケ	
	小 計		[A]	3,900 ア～ケ
自主事業収入	自主事業参加費		コ	6,550
			サ	
			シ	
			ス	
			セ	
	小 計		[B]	6,635 コ～セ
雑入	印刷代		ソ	480
	自動販売機手数料		タ	700
	講座関連商品等		チ	73
	ロッカー使用料		ツ	20
			テ	
			ト	
	小 計		[C]	1,273 ソ～ト

小 計 【ア】	施設運営収入計	11,808 [A]～[C]
---------	---------	----------------

※金額は、消費税及び地方消費税(10%)込みの額を記載してください。

単独団体名・共同事業体名	株式会社 有隣堂
施設名	横浜市富岡並木地区センター

令和4年度収支予算書

2 支出の部内訳(ニーズ対応費除く)

		内 容 等	金 額	(単位:千円)
人件費	正規雇用職員	館長1名・副館長2名(給与・法定福利費)	ア 9,580	
	臨時雇用職員	コミュニティスタッフ14名賃金	イ 9,100	
	対象外の人事費		ウ 1,000	ウ-1~ウ-4
	通勤手当		ケ-1 920	
	健康診断費		ケ-2 80	
	労働者福祉共済掛金		ケ-3 0	
	退職給付引当金繰入額		ケ-4 0	
小計			[a] 19,680	ア~ウ
事務費	旅費		エ 20	
	消耗品費		オ 600	
	会議賄い費		カ 20	
	印刷製本費		キ 60	
	通信費		ク 400	
	使用料及び賃借料		ケ 554	ケ-1~ケ-2
	横浜市への支払い分		ケ-1 52	
	その他		ケ-2 502	
	備品購入費		コ 306	
	図書購入費		サ 600	
	施設賠償責任保険		シ 20	
	職員等研修費		ス 20	
	振込手数料		セ 0	
	リース料		ソ 300	
	手数料		タ 100	
	地域協力費		チ 200	
			ツ	
			テ	
	小計		[b] 3,200	エ~テ
自主事業費			[c] 6,888	
管理費 A	電気料金		ト 2,900	
	ガス料金		ナ 2,400	
	上下水道料金		ニ 1,200	
	小計		[d] 6,500	ト~ニ
管理費 B	清掃費		ヌ 550	
	修繕費		ネ 1,400	
	機械警備費		ノ 230	
	設備保全費		ハ 2,920	ハ-1~ハ-6
	空調衛生設備保守		ハ-1 718	
	消防設備保守		ハ-2 160	
	電気設備保守		ハ-3 1,350	
	害虫駆除清掃保守		ハ-4 72	
	駐車場設備保全費		ハ-5 0	
	その他保全費		ハ-6 620	
	共益費		ヒ 0	
			フ	
			ヘ	
	小計		[e] 5,720	ヌ~ヘ
公租公課	事業所税		ホ	
	消費税		マ 1,900	
	印紙税		ミ	
	その他()		ム	
	小計		[f] 1,900	ホ~ム
事務経費	本部分		メ 3,500	
	当該施設分		モ	
	小計		[g] 3,500	メ~モ
小計 【ウ】		施設管理運営経費計	47,388	[a]~[g]

※金額は、消費税及び地方消費税(10%)込みの額を記載してください。

※公租公課欄には、仕入税額控除後の消費税及び地方消費税見込額、その他税額を記載してください。